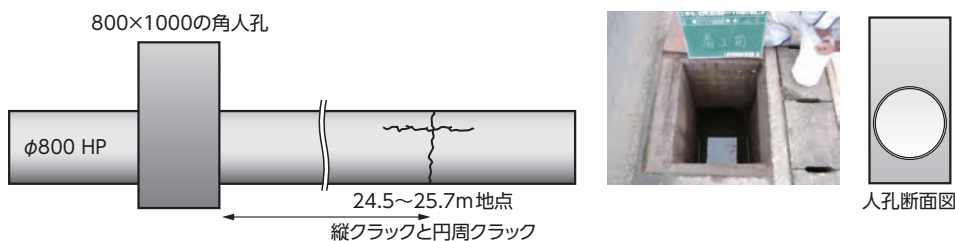


大口径補修（熱硬化）・ます補修（熱硬化）

1 大口径補修（熱硬化）… 狭い人孔からの施工事例

大口径 $\phi 800$ 標準Ⅲ（BM 7セット）

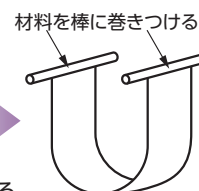
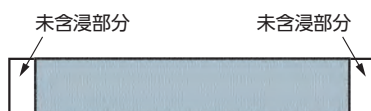
状況



※施工時の大きな問題は、800×1000の人孔内での補修材の巻きつけ。

施工
方法

人孔内で施工機を組み立て、管きよ内に挿入し、人孔内での作業スペースの確保。材料の含浸時に、両端に未含浸の部分を作り、棒に巻きつけて、掛け軸状にして、人孔内に垂らす。



管きよ内の施工機を引き出して、材料を巻きつける。

施工機の上に作業者が立って巻き付け作業を行った。材料の両端を引っ張り上げて、施工機に密着させ、片側ずつ巻きつけて、未含浸部分をハサミで切断。



巻き付け状況



巻き付け完了



巻き付け完了→施工位置に移動させて補修を行う



材料を垂らして、施工機を移動



施工中



施工後
重ね張り

2 大口径補修（熱硬化）… 水量の多い箇所の施工事例

大口径 $\phi 900$ 標準Ⅰ

状況



人孔より26m地点の施工前



施工中



施工後

施工
状況



含浸状況



含浸後の材料搬入



巻き付け状況



施工機の挿入状況
（水量はインバートいっぱいまであり）